

大館市・田代町合併協議会規約

（設置）

第1条 大館市及び田代町（以下「1市1町」という。）は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項及び市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号。以下「法」という。）第3条第1項の規定に基づき、合併協議会を置く。

（名称）

第2条 合併協議会は、大館市・田代町合併協議会と称する。

（所掌事務）

第3条 大館市・田代町合併協議会（以下「協議会」という。）は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 1市1町の合併に関する協議
- (2) 法第5条の規定に基づく新市建設計画の作成
- (3) 前2号に掲げるもののほか、1市1町の合併に関し必要な事項

（事務所）

第4条 協議会の事務所は、大館市役所内に置く。

（組織）

第5条 協議会は、会長及び委員をもってこれを組織する。

（会長）

第6条 会長は、1市1町の長の協議により、1市1町の長のうちからこれを選任する。

2 会長は、非常勤とする。

（副会長）

第7条 協議会に、副会長1人を置く。

2 副会長は、次条第1項第1号に掲げる者をもってこれに充てる。

（委員）

第8条 委員は、次の者をもってこれに充てる。

- (1) 1市1町の長（第6条第1項の規定により会長に選任された者を除く。）
- (2) 1市1町の議会の議長及び1市1町の議会がそれぞれ推薦する議員各2人
- (3) 学識経験を有する者であって1市1町の長がそれぞれ定めるもの各3人
- (4) 学識経験を有する者であって1市1町の長が協議により定めるもの1人

2 委員は、非常勤とする。

(会長及び副会長の職務)

第9条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第10条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長がこれを招集する。

- 2 会長は、委員の3分の1以上の者から会議の招集の請求があったときは、これを招集しなければならない。
- 3 会議の開催日時及び開催場所は、会議に付すべき事項とともに会長があらかじめ委員に通知しなければならない。

(会議の運営)

第11条 会議は、在任委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

- 2 会長は、会議の議長となる。
- 3 会議の議事その他会議の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮り別に定める。

(関係職員等の出席)

第12条 協議会は、関係職員その他必要と認める者に対し、会議への出席を求めることができる。

(小委員会)

第13条 第3条各号に掲げる事務の一部について調査、審議等を行うため、協議会に小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮り別に定める。

(幹事会及び専門部会)

第14条 会議に付すべき事項の検討及び調整を行うため、協議会に幹事会を置く。

- 2 第3条各号に掲げる事務の専門的な検討及び調整を行うため、幹事会に専門部会を置く。
- 3 幹事会及び専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第15条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 協議会の事務に従事する職員は、1市1町の長が協議により定める者をもってこれに充てる。
- 3 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費)

第16条 協議会の運営に要する経費は、1市1町の負担金及びその他の収入をもってこ

れに充てる。

2 前項の負担金の額は、1市1町の長が協議によりこれを定める。

3 協議会の会計年度は、普通地方公共団体の会計年度とする。

（財務に関する事項）

第17条 協議会の予算の編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

（監査）

第18条 協議会の出納の監査は、1市1町の代表監査委員を協議会の監査委員（以下「監査委員」という。）として委嘱することによりこれを行う。

2 監査委員は、前項の監査を行ったときは、その結果を会長に報告しなければならない。

3 監査委員は、非常勤とする。

（報酬及び費用弁償）

第19条 協議会の委員（副会長を除く。）及び監査委員は、報酬を受けることができる。

2 協議会の会長、委員及び監査委員は、その職務を行うために要する費用の弁償を受けることができる。

3 第1項の報酬及び前項の費用弁償の額及び支給方法は、会長が別に定める。

（協議会が解散した場合の措置）

第20条 協議会が解散した場合においては、協議会の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

（委任）

第21条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、1市1町の長が協議により定める日から施行する。

大館市・田代町合併協議会幹事会規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第14条第3項の規定に基づき、大館市・田代町合併協議会幹事会（以下「幹事会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第2条 幹事会は、協議会の会長（以下「会長」という。）の指示を受け、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 協議会の会議に付すべき事項の検討及び調整に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、協議会の運営に必要な事項に関すること。

（組織）

第3条 幹事会は、別表に掲げる職にある者を幹事としてこれを組織する。

2 幹事会に次の役員を置く。

- (1) 幹事長 1人
- (2) 副幹事長 1人

3 幹事長及び副幹事長は、幹事の互選によりこれを選任する。

（役員の職務）

第4条 幹事長は、幹事会を代表し、会務を総理する。

2 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 幹事会の会議（以下「会議」という。）は、幹事長が必要に応じてこれを招集する。

2 幹事長は、会議の議長となる。

（関係職員等の出席）

第6条 幹事会は、関係職員その他必要と認める者に対し、会議への出席を求めることができる。

（報告）

第7条 幹事長は、幹事会における検討及び調整の経過及び結果を会長に報告するものとする。

（庶務）

第8条 幹事会の庶務は、規約第15条第1項に規定する協議会の事務局においてこれを処理する。

（補則）

第9条 この規程に定めるもののほか、幹事会に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

別表（第3条関係）

区 分	大 館 市	田 代 町
職 名	助 役	助 役
	企 画 部 長	総 務 課 長

大館市・田代町合併協議会専門部会規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第14条第3項の規定に基づき、大館市・田代町合併協議会専門部会（以下「専門部会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第2条 専門部会は、大館市・田代町合併協議会幹事会の幹事長（以下「幹事長」という。）の指示を受け、規約第3条各号に掲げる事務について、専門的に検討及び調整を行うものとする。

（組織）

第3条 専門部会は、別表専門部会名の欄に掲げるとおりとし、同表関係部課長等の欄に掲げる職にある者を委員としてこれを組織する。

2 各専門部会に次の役員を置く。

(1) 部会長 1人

(2) 副部会長 1人

3 部会長及び副部会長は、委員の互選によりこれを選任する。

（役員の職務）

第4条 部会長は、専門部会を代表し、会務を総理する。

2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 専門部会の会議（以下「会議」という。）は、部会長が必要に応じてこれを招集する。

2 部会長は、会議の議長となる。

3 専門部会は、必要に応じて関係する他の専門部会と合同の会議を開催することができる。

（関係職員等の出席）

第6条 専門部会は、関係職員その他必要と認める者に対し、会議への出席を求めることができる。

（分科会）

第7条 専門部会の所掌事務の詳細について調査、検討及び調整を行うため、専門部会に分科会を置く。

2 分科会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会の会長が別に定める。

（報告）

第8条 部会長は、専門部会における検討及び調整の経過及び結果を幹事長に報告するものとする。

（庶務）

第9条 専門部会の庶務は、部会長の属する市又は町の担当部門においてこれを処理する。

（補則）

第10条 この規程に定めるもののほか、専門部会に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

別表(第3条関係)

専 門 部 会 委 員

専 門 部 会 名	関 係 部 課 長 等	
	大 館 市	田 代 町
企 画 部 会	企画部長 建設部長 企画振興課長 電算情報室長 都市計画課長 資源リサイクル対策室長	総務課長
財 務 部 会	企画部長 総務部長 財政課長 契約検査課長 会計課長	総務課長 財務課長 税務課長 建設課長 出納室長
総 務 部 会	総務部長 総務課長 職員課長 管財課長	総務課長 財務課長 住民課長 出納室長
税 務 部 会	総務部長 税務課長 収納課長	税務課長 福祉保健課長
住 民 部 会	企画部長 市民部長 資源リサイクル対策室長 市民課長 保険課長 保健センター所長 生活環境課長	財務課長 税務課長 住民課長 福祉保健課長 建設課長
福 祉 部 会	市民部長 福祉課長 長寿支援課長	住民課長 福祉保健課長 保育園長
産 業 部 会	産業部長 商工課長 観光物産課長 農林課長	財務課長 産業振興課長 建設課長
建 設 部 会	建設部長 土木課長 都市計画課長 下水道課長 水道課長 工業用水道管理事務所長	財務課長 住民課長 産業振興課長 建設課長 生涯学習課長
教 育 部 会	教育次長 教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 教育研究所長 中央公民館長 中央図書館長 スポーツ課長	総務学校教育課長 生涯学習課長
議 会 事 務 局 部 会	議会事務局長	議会事務局長
選 管 事 務 局 部 会	選管事務局長	選管委員会書記長
農 委 事 務 局 部 会	農委事務局長	農委事務局長
監 査 事 務 局 部 会	監査委員事務局長	監査委員書記
病 院 部 会	市立総合病院事務局長 市立総合病院企画課長 市立総合病院総務課長 市立総合病院医事課長	福祉保健課長

大館市・田代町合併協議会分科会規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会専門部会規程第7条第2項の規定に基づき、大館市・田代町合併協議会分科会（以下「分科会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第2条 分科会は、大館市・田代町合併協議会専門部会の部会長（以下「部会長」という。）の指示を受け、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第3条各号に掲げる事務について、専門的に調査、検討及び調整を行うものとする。

（組織）

第3条 分科会は、別表分科会名の欄に掲げるとおりとし、同表関係所管課等の欄に掲げる課等の職員を委員としてこれを組織する。

2 各分科会に次の役員を置く。

(1) 分科会長 1人

(2) 副分科会長 1人

3 分科会長及び副分科会長は、委員の互選によりこれを選任する。

（役員の職務）

第4条 分科会長は、分科会を代表し、会務を総理する。

2 副分科会長は、分科会長を補佐し、分科会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 分科会の会議（以下「会議」という。）は、分科会長が必要に応じてこれを招集する。

2 分科会長は、会議の議長となる。

3 分科会は、必要に応じて関係する他の分科会と合同の会議を開催することができる。

（関係職員等の出席）

第6条 分科会は、関係職員その他必要と認める者に対し、会議への出席を求めることができる。

（報告）

第7条 分科会長は、分科会における調査、検討及び調整の経過及び結果を部会長に報告するものとする。

（庶務）

第8条 分科会の庶務は、分科会長の属する市又は町の担当部門においてこれを処理する。

（補則）

第9条 この規程に定めるもののほか、分科会に関し必要な事項は、幹事長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

別表(第3条関係)

分科会委員

専門部会名	分科会名	関係所管課等	
		大館市	田代町
企画部会	企画分科会	企画振興課 資源リサイクル対策室 都市計画課	総務課
	電算分科会	電算情報室	総務課
財務部会	財政分科会	財政課	財務課 出納室
	契約検査分科会	契約検査課	財務課 建設課
	会計分科会	会計課	総務課 財務課 税務課 出納室
総務部会	総務分科会	総務課	総務課 財務課 住民課
	例規分科会	総務課	総務課
	広報広聴分科会	総務課	総務課
	防災分科会	総務課	住民課
	人事分科会	職員課	総務課
	管財分科会	管財課	総務課 財務課 出納室
税務部会	賦課分科会	税務課	税務課 福祉保健課
	徴収分科会	収納課	税務課
住民部会	住民分科会	市民課	税務課 住民課 選管委員会
	年金分科会	市民課	住民課
	国保分科会	保険課	税務課 福祉保健課
	医療給付分科会	保険課	福祉保健課
	保健分科会	保険課 保健センター	福祉保健課
	生活環境分科会	資源リサイクル対策室 生活環境課	総務課 財務課 住民課 福祉保健課 建設課

福 祉 部 会	福 祉 総 務 分 科 会	福祉課	福祉保健課
	保 護 分 科 会	福祉課	福祉保健課
	社 会 福 祉 分 科 会	福祉課	総務課 住民課 福祉保健課
	児 童 福 祉 分 科 会	福祉課	福祉保健課
	高 齢 者 福 祉 分 科 会	長寿支援課	福祉保健課
産 業 部 会	商 工 分 科 会	商工課	総務課 産業振興課
	観 光 分 科 会	観光物産課	産業振興課
	農 林 分 科 会	農林課	総務課 財務課 産業振興課 建設課 農業委員会
建 設 部 会	土 木 分 科 会	土木課	住民課 産業振興課 建設課
	都 市 計 画 分 科 会	都市計画課	財務課 住民課 産業振興課 建設課 生涯学習課
	水 道 分 科 会	水道課 工業用水道管理事務所	建設課
	下 水 道 分 科 会	下水道課	建設課
教 育 部 会	教 育 総 務 分 科 会	教育総務課	総務学校教育課
	学 校 教 育 分 科 会	学校教育課 教育研究所	総務学校教育課 生涯学習課
	社 会 教 育 分 科 会	社会教育課 中央公民館 中央図書館	総務課 生涯学習課 公民館
	ス ポ ー ツ 分 科 会	スポーツ課	生涯学習課
議 会 事 務 局 部 会	議 会 事 務 局 分 科 会	議会事務局	議会事務局
選 管 事 務 局 部 会	選 管 事 務 局 分 科 会	選管事務局	選管委員会
農 委 事 務 局 部 会	農 委 事 務 局 分 科 会	農委事務局	農委事務局
監 査 事 務 局 部 会	監 査 事 務 局 分 科 会	監査委員事務局	監査委員
病 院 部 会	病 院 分 科 会	市立総合病院企画課 市立総合病院総務課 市立総合病院医事課	福祉保健課

注意 分科会の委員は、おおむね大館市にあっては課長補佐及び係長、田代町にあっては主幹、主査及び主任の職にある者とする。

大館市・田代町合併協議会事務局規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第15条第3項の規定に基づき、協議会の事務局（以下「事務局」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 事務局は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 協議会の会議に関する事項
- (2) 協議会の協議資料の作成に関する事項
- (3) 協議会の庶務に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項

(職員等)

第3条 事務局に事務局長、事務局次長その他の職員を置く。

2 事務局の職員（以下「職員」という。）は、協議会の会長（以下「会長」という。）がこれを任命する。

3 事務局の分掌事務は、おおむね別表第1のとおりとする。

(職員の職務)

第4条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の運営全般を統括する。

2 事務局次長は、上司の命を受け、職員を指揮監督するとともに、事務局長を補佐し、事務局長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

3 その他の職員は、上司の命を受け、事務をつかさどる。

(会長の決裁事項)

第5条 会長が決裁する事項は、次のとおりとする。

- (1) 協議会の運営に関する基本方針に関すること。
- (2) 協議会の会議に付すべき事項に関すること。
- (3) 協議会の予算及び決算の調製に関すること。
- (4) 規程等の制定改廃に関すること。
- (5) 1件の金額が100万円以上の支出負担行為及び支出命令に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、事務局長が特に重要と認める事項

(専決事項)

第6条 事務局長は、次に掲げる事項を専決することができる。

- (1) 協議会の幹事会、専門部会及び分科会の調整に関すること。
- (2) 1市1町の連絡調整に関すること。
- (3) 広報に関すること。
- (4) 各種資料等の作成に関すること。
- (5) 1件の金額が100万円未満の支出負担行為及び支出命令に関すること。
- (6) 物品及び現金の出納に関すること。

- (7) 職員の休暇及び時間外勤務命令並びに出張命令に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、会長の決裁事項以外の事項に関すること。

(代決)

第7条 会長が不在のときは、協議会の副会長（以下「副会長」という。）がその事項を代決する。

2 前項の場合において、副会長が不在のときは、事務局長がその事項を代決する。

3 事務局長が不在のときは、事務局次長がその事項を代決する。

(文書)

第8条 事務局における文書の取り扱いについては、会長の属する市又は町の例による。

(公印)

第9条 公印の種類、様式、印材、書体、寸法、用途、管守責任者及び個数は、別表第2のとおりとする。

(職員の服務)

第10条 職員の服務及び勤務時間その他の勤務条件は、会長の属する市又は町の例による。

(職員の給与等)

第11条 職員の給与等は、当該職員の属する市又は町の負担とする。

2 職員の旅費は、会長の属する市又は町の例により、協議会の予算からこれを支給する。

(補則)

第12条 この規程に定めるもののほか、事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

別表第1（第3条関係）

担 当 名	分 掌 事 務
総 務 担 当	1 庶務及び会計に関すること。 2 合併の諸手続に関すること。 3 協議会の会議に関すること。 4 合併に係る広報に関すること。 5 合併に係る資料の作成に関すること。 6 人事に関すること。 7 報酬等の支給に関すること。 8 合併の方式に関すること。 9 合併の期日に関すること。 10 新市の名称に関すること。 11 新市の事務所の位置に関すること。 12 その他他の担当に属さないこと。
計 画 担 当	1 新市建設計画に関すること。 2 財政計画に関すること。 3 予算編成に関すること。
調 整 担 当	1 事務事業の一元化に関すること。 2 合併協定項目（総務担当が分掌するものを除く。）の調整に関すること。 3 新市の例規に関すること。

別表第 2（第 9 条関係）

公印の種類	様 式	印材	書 体	寸 法	用 途	管守責任者	個数
会 長 印	<div> 大館市・田代町 合 併 協 議 会 会 長 之 印 </div>	つげ	てん書	方 2 1 ミリ メートル	一般文書用	事務局長	1
事務局長印	<div> 大館市・田代町 合 併 協 議 会 事 務 局 長 之 印 </div>	つげ	てん書	方 2 1 ミリ メートル	一般文書用	事務局長	1

大館市・田代町合併協議会財務規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約 以下「規約」という。) 第17条の規定に基づき、協議会の財務に関し、必要な事項を定めるものとする。

(歳入歳出予算)

第2条 協議会の予算(以下「予算」という。)は、規約第16条第1項に規定する1市1町の負担金及びその他の収入をもってその歳入とし、協議会の事務に要するすべての経費をもってその歳出とする。

2 協議会の会長(以下「会長」という。)は、毎会計年度予算を調製し、協議会の会議(以下「会議」という。)を経なければならない。

3 会長は、前項の規定により予算が会議を経たときは、当該予算の写しを速やかに1市1町の長に送付しなければならない。

(補正予算)

第3条 会長は、予算の調製後に生じた事由に基づき、既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときは、補正予算を調製し、会議を経なければならない。

2 前条第3項の規定は、前項の補正予算について準用する。

(歳入歳出予算の区分)

第4条 歳入予算の款及び項の区分は、別表第1のとおりとする。

2 歳出予算の款及び項の区分は、別表第2のとおりとする。

3 前2項の規定にかかわらず、臨時かつ特別な理由があるときは、別表第1及び別表第2に定める款及び項以外の款又は項を定めることができる。

(出納及び現金の保管)

第5条 協議会の出納は、会長がこれを行う。

2 協議会に属する現金は、銀行その他金融機関にこれを預け入れなければならない。

(出納員)

第6条 会長は、協議会の事務局の職員のうちから協議会の出納員(以下「出納員」という。)を命ずることができる。

2 出納員は、会長の命を受け、協議会の出納その他の会計事務をつかさどる。

(決算等)

第7条 会長は、会計年度が終了したときは、遅滞なく決算を調製し、協議会の監査委員の監査に付した後、その意見を付けて会議に報告しなければならない。

(収入及び支出の手続)

第8条 予算に係る収入及び支出の手続は、別に定める様式によりこれを行うものとする。

2 出納員は、次に掲げる簿冊を整え、出納の管理を行うものとする。

(1) 現金出納簿

(2) 予算執行整理簿

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、出納の管理に必要な簿冊
(補則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、財務に関し必要な事項は、事務局長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、規約の施行の日から施行する。
(平成 1 5 年度における歳入予算の区分の特例)
- 2 平成 1 5 年度における歳入予算の款及び項の区分は、別表第 1 の規定にかかわらず次のとおりとする。

歳入予算の款及び項の区分

款	項
1 繰入金	1 繰入金
2 諸収入	1 諸収入

別表第 1（第 4 条関係）

歳入予算の款及び項の区分

款	項
1 負担金	1 負担金
2 県支出金	1 県補助金
3 繰越金	1 繰越金
4 諸収入	1 諸収入

別表第 2（第 4 条関係）

歳出予算の款及び項の区分

款	項
1 総務費	1 総務管理費
2 事業費	1 事業推進費
3 予備費	1 予備費

大館市・田代町合併協議会報酬及び費用弁償規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第19条第3項の規定に基づき、協議会の会長、委員及び監査委員（以下「委員等」という。）の報酬及び費用弁償の額及び支給方法に関し、必要な事項を定めるものとする。

（報酬）

第2条 協議会の委員（副会長を除く。以下同じ。）及び監査委員が協議会の会議に出席したとき並びに監査委員が監査を行ったときは、報酬として日額5,000円を支給する。

（費用弁償）

第3条 協議会の委員及び監査委員が協議会の会議に出席したとき並びに監査委員がその職務を行ったときは、費用弁償としてバス運賃に相当する額を支給する。

2 委員等がその職務を行うために1市1町の区域外に旅行したときは、会長の属する市又は町の例により、費用弁償として旅費を支給する。

（支給方法）

第4条 報酬及び費用弁償の支給方法は、協議会の会長の属する市又は町の例による。

（補則）

第5条 この規程に定めるもののほか、委員等の報酬及び費用弁償に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

別紙

大館市・田代町合併協議会会議運営規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会規約（以下「規約」という。）第11条第3項の規定に基づき、協議会の会議（以下「会議」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（基本方針）

第2条 会議は、公開を原則とする。

2 会議の運営は、公平かつ公正にこれを行わなければならない。

3 協議会の委員は、効率的かつ円滑な会議の運営に協力しなければならない。

（会議の開閉等）

第3条 会議の開会及び閉会は、議長がこれを宣告する。

2 委員は、議長の許可を得た後、発言するものとする。

（会議の進行）

第4条 会議の議事は、全会一致をもってこれを進めることを原則とする。ただし、十分な議論を尽くした上で、なお意見が分かれた場合は、出席委員の3分の2以上の同意をもってこれを進めるものとする。

（会議録）

第5条 議長は、次に掲げる事項を記載した会議録を調製するものとする。

(1) 会議の開催の日時及び場所

(2) 会議への出席者及び欠席者の氏名

(3) 会議事項

(4) 会議経過

(5) 前各号に掲げるもののほか、議長が必要と認める事項

2 会議録には委員2名が署名するものとし、当該署名する委員は、議長が会議においてこれを指名する。

（会議録等の公開）

第6条 会議録及び会議資料は、これを公開する。

（傍聴）

第7条 会議は、これを傍聴することができる。

2 会議の傍聴に関し必要な事項は、協議会の会長（以下「会長」という。）が別に定める。

（規律）

第8条 何人も、会議中はみだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。

2 会議場において資料、新聞、文書等を配布するときは、議長の許可を得なければならない。

（補則）

第9条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規程は、規約の施行の日から施行する。

大館市・田代町合併協議会会議傍聴規程

（趣旨）

第1条 この規程は、大館市・田代町合併協議会会議運営規程第7条第2項の規定に基づき、協議会の会議（以下「会議」という。）の傍聴に関し、必要な事項を定めるものとする。

（傍聴の手續）

第2条 会議を傍聴しようとする者は、所定の場所において、大館市・田代町合併協議会会議傍聴人受付簿（別記様式）に自己の住所、氏名及び年齢を記入しなければならない。

（傍聴人の制限）

第3条 議長は、会議場の規模に応じて傍聴人の数を制限することができる。

（傍聴席に入ることができない者）

第4条 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器その他危険なものを持っている者
 - (2) 酒気を帯びていると認められる者
 - (3) 鉢巻、腕章、たすき、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は持っている者
 - (4) ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を持っている者
 - (5) 笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を持っている者
 - (6) 下駄、木製サンダルの類を履いている者
 - (7) 前各号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、会議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者
- 2 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。

（傍聴人の守るべき事項）

第5条 傍聴人は、傍聴席において、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議における言論に対し拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 私語、談笑その他会議の妨害となるような行為をしないこと。
- (3) 張り紙を掲げる等示威的行為をしないこと。
- (4) 携帯電話の電源を切ること。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) みだりに席を離れないこと。
- (7) 不体裁な行為又は他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、又は会議を妨害するような行為をしないこと。

（写真等の撮影及び録音等の禁止）

第6条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た場合は、この限りでない。

（係員の指示）

第7条 傍聴人は、係員の指示に従わなければならない。

（違反に対する措置）

第8条 傍聴人が前3条の規定に違反したときは、議長は、これを制止し、当該傍聴人がその指示に従わないときは、これを退場させることができる。

（補則）

第9条 この規程に定めるもののほか、会議の傍聴に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この規程は、大館市・田代町合併協議会規約の施行の日から施行する。

別記様式（第2条関係）

大館市・田代町合併協議会会議傍聴人受付簿

第 回会議 年 月 日（ 曜日）

番号	住 所	氏 名	年齢（歳）	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				